

東北学院大学「地域の課題Ⅰ」 最終レポート

【テーマ】

ケース教材「白石温麺・地域を支える伝統産業・(きちみ製麺株式会社)」または
ケース教材「進化するホテルチェーン(松月産業株式会社)」のどちらか一つのケースを選択してください。

自らの切り口からケース企業の現状を整理して、ひとつの事柄を選び、その事柄について
根拠をもって将来像を描き、課題を見つけてください。

なお、問1から問6までの全ての回答が一貫し、つじつまの合う主張となるように論述してください。

【設問】

問1. あなたの選んだケース教材のタイトルを記入してください。【30字以内】

問2. あなたの切り口からケース企業の現状を整理して説明してください。また、その現状の中から
特に関心のある事柄を「ひとつ」選び、記述してください。【200字程度】

問3. 回答2の現状のうち、特に関心のある事柄について、あなたの切り口から将来像を描き、記述してください。
【200字程度】

問4. 回答3の将来像について、講義内で説明した4つのチェックリストをどのように踏まえたのか、その過程を
説明してください。なお、この説明には根拠として一次資料等データを含めてください。【200字程度】

問5. 回答2の現状と、回答3の将来像を踏まえて、課題を一文で説明してください。【200字程度】

問6. 回答2から回答5までを記述した「あなたの切り口」について説明してください。【150字程度】

【採点基準】

- | | |
|--------------|--|
| ✓ 現状の理解 | ケース教材の事実関係を読み取り、自分なりの切り口から現状を記述できている。 |
| ✓ 将来像 | 講義の用語を用いて、自らの切り口から注目した事柄の将来像を描いている。 |
| ✓ 4つのチェックリスト | 講義の学びを活用して、チェックリストと照らし合わせて将来像を描く努力をしている。 |
| ✓ 課題 | 大きな文法の誤りがなく、自分の主張を導きだしている。
解決策(解決アイデア)ではなく、課題を見つけることができている。 |
| ✓ あなたの切り口 | 自らの経験や専門分野も踏まえて、自らの切り口を相手にわかりやすく説明している。 |
| ✓ 一貫性 | 問1から問6の回答(特に2現状、3・4将来像、5課題、6切り口)に一貫性がある。 |
-

【提出について】

提出締切：平成 30 年(2018 年) 2 月 8 日木曜日 正午(昼 12 時)まで

提出方法：manaba より提出してください。 <https://tohoku-gakuin.manaba.jp/>

方法：最終レポートの設問ごとに回答を入力してください。

注意：前期と同様、後期の再履修も締切後の提出は受け付けません。やむを得ない事情があり提出が遅れることが予想される場合は、提出期限の前日までにメールで申し出てください。
(ただし成績入力期限が決まっていますので、必ずしも希望が叶うとは限りません。)

【事前確認について】

※希望者のみ。送付は任意ですが、活用することを勧めます。

期間：平成 30 年(2018 年) 2 月 5 日月曜日 午前 9 時まで

方法：以下のメールアドレスに、件名「地域の課題 I ・最終レポートの確認」とし、本文には「学籍番号」「氏名」「連絡先(電話番号)」を明記の上、「問い合わせ事項」を送信してください。

「地域の課題 I 教員チーム」メールアドレス エル・イー・シー | iec@miyagi-coc.jp ※全て半角英字です

注意：送信から 24 時間(土日祝を除く)が経過しても返信がない場合には、未着の可能性あります。その場合には、電話にてお問い合わせください。

電話番号 022-264-6328(平日 9:00~17:00 地域協働教育推進機構 内)

回答：連絡のあった順に、随時メールを返信します。2 月 5 日受付分は、翌日 6 日火曜日中に返信します。

2017 年度後期「地域の課題 I」WEB サイト

これまでの授業の配布資料を公開しています
ので活用してください。

<http://miyagi-coc.jp/s1/>



以上